

科目コード	237																																																										
科 目 名	在宅看護論 (Home Care Nursing)																																																										
選択区分	必修 単位数 (時間) 2 単位 (45時間) 履修時期 3 年次前期																																																										
担当教員	窪田 静、長尾 奈美 科目区分 専門科目																																																										
授業概要	様々な療養の場で生活する在宅療養者を長い時間軸で捉え、看護していく方について、実践例を示しながら、演習や発表を通して教授する。																																																										
授業目標	外来・訪問・病棟・入所施設・通所施設等、生活の場それぞれでの療養者像と看護を理解する。生活の継続性を支える視点から在宅看護をとらえ、在宅ケアチームでの看護師の役割を理解する。在宅療養者の多面的な背景や全体像を捉え、「その人らしく生きること」を支える方法を理解する。生活空間拡大とQOL向上を図るための、基礎的な生活環境整備とケア技術を学び、経験する。																																																										
授業内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>項目</th> <th>内 容</th> <th>担当者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 ~ 2</td> <td>在宅看護概論</td> <td>在宅看護の概念 社会的背景と歴史 国際比較 対象 専門性</td> <td>窪田静</td> </tr> <tr> <td>3 ~ 4</td> <td>在宅看護の制度とシステム</td> <td>介護保険制度 医療保険制度 訪問看護制度 在宅医療 診療報酬 訪問看護ステーション</td> <td>窪田静</td> </tr> <tr> <td>5 ~ 6</td> <td>在宅ヘルスアセスメント</td> <td>意思伝達 呼吸 摂食 嚥下 褥瘡 感染予防等</td> <td>窪田静</td> </tr> <tr> <td>7 ~ 8</td> <td>在宅医療支援</td> <td>在宅酸素療法 中心静脈栄養法 人工呼吸器療法等</td> <td>窪田静</td> </tr> <tr> <td>9 ~ 10</td> <td>在宅療養支援技術</td> <td>自律度を高め、身体損傷を防ぐ ポジショニング 移乗 移動 シーティング 食事 自宅浴室での入浴 排泄</td> <td>窪田静 長尾奈美</td> </tr> <tr> <td>11 ~ 12</td> <td>在宅療養支援技術 演習</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>13 ~ 14</td> <td>在宅療養支援技術</td> <td>二次障害を減らし、寝たきりを起こす ベッド上移動 (摩擦軽減シート・グローブ) ベッドの背上げ膝上げ 背面開放座位</td> <td>窪田静 長尾奈美</td> </tr> <tr> <td>15 ~ 16</td> <td>在宅療養支援技術 演習</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>17 ~ 18</td> <td>対象理解と支援</td> <td>全人的理解 活動制限のアセスメント 意志決定・自己実現を支援する視点と技術</td> <td>窪田静</td> </tr> <tr> <td>19 ~ 20</td> <td>在宅看護過程</td> <td>医療依存度の高い在宅療養者 (神経・筋変性疾患) 在宅移行支援期の高齢者</td> <td>窪田静 長尾奈美</td> </tr> <tr> <td>21</td> <td>対象理解と支援 在宅看護の制度とシステム</td> <td>障害者への総合的な支援 障害者総合支援法 (教育協力者)</td> <td>窪田静</td> </tr> <tr> <td>22 ~ 23</td> <td>まとめ</td> <td>在宅看護論実習を前に学びを統合し、「在宅看護論を学ぶ目的と課題」を検討する</td> <td>窪田静 長尾奈美</td> </tr> <tr> <td>成績評価方法</td> <td>提示した課題へのレポートと小テストにより評価する。</td> </tr> <tr> <td>教科書</td> <td>窪田静「生活環境整備のための福祉用具の使い方 (自己学習用 DVD 付)」(看護協会出版会) 地域ケアマネジメント論で教科書指定 ; 宇都宮宏子・山田雅子 (2014)「看護がつながる在宅療養移行支援病院・在宅 の患者像別看護ケアのマネジメント」(日本看護協会出版会) 配布; 在宅医療と訪問看護のあり方検討委員会「訪問看護活用ガイド」(在宅医療助成勇美記念財団、在宅医療テキスト編集委員会) (2009)「在宅医療テキスト」(在宅医療助成勇美記念財団)</td> </tr> <tr> <td>備 考</td> <td>地域ケアマネジメント論の進捗状況等により、授業スケジュールを変更する可能性があります。</td> </tr> </tbody> </table>	回	項目	内 容	担当者	1 ~ 2	在宅看護概論	在宅看護の概念 社会的背景と歴史 国際比較 対象 専門性	窪田静	3 ~ 4	在宅看護の制度とシステム	介護保険制度 医療保険制度 訪問看護制度 在宅医療 診療報酬 訪問看護ステーション	窪田静	5 ~ 6	在宅ヘルスアセスメント	意思伝達 呼吸 摂食 嚥下 褥瘡 感染予防等	窪田静	7 ~ 8	在宅医療支援	在宅酸素療法 中心静脈栄養法 人工呼吸器療法等	窪田静	9 ~ 10	在宅療養支援技術	自律度を高め、身体損傷を防ぐ ポジショニング 移乗 移動 シーティング 食事 自宅浴室での入浴 排泄	窪田静 長尾奈美	11 ~ 12	在宅療養支援技術 演習			13 ~ 14	在宅療養支援技術	二次障害を減らし、寝たきりを起こす ベッド上移動 (摩擦軽減シート・グローブ) ベッドの背上げ膝上げ 背面開放座位	窪田静 長尾奈美	15 ~ 16	在宅療養支援技術 演習			17 ~ 18	対象理解と支援	全人的理解 活動制限のアセスメント 意志決定・自己実現を支援する視点と技術	窪田静	19 ~ 20	在宅看護過程	医療依存度の高い在宅療養者 (神経・筋変性疾患) 在宅移行支援期の高齢者	窪田静 長尾奈美	21	対象理解と支援 在宅看護の制度とシステム	障害者への総合的な支援 障害者総合支援法 (教育協力者)	窪田静	22 ~ 23	まとめ	在宅看護論実習を前に学びを統合し、「在宅看護論を学ぶ目的と課題」を検討する	窪田静 長尾奈美	成績評価方法	提示した課題へのレポートと小テストにより評価する。	教科書	窪田静「生活環境整備のための福祉用具の使い方 (自己学習用 DVD 付)」(看護協会出版会) 地域ケアマネジメント論で教科書指定 ; 宇都宮宏子・山田雅子 (2014)「看護がつながる在宅療養移行支援病院・在宅 の患者像別看護ケアのマネジメント」(日本看護協会出版会) 配布; 在宅医療と訪問看護のあり方検討委員会「訪問看護活用ガイド」(在宅医療助成勇美記念財団、在宅医療テキスト編集委員会) (2009)「在宅医療テキスト」(在宅医療助成勇美記念財団)	備 考	地域ケアマネジメント論の進捗状況等により、授業スケジュールを変更する可能性があります。
回	項目	内 容	担当者																																																								
1 ~ 2	在宅看護概論	在宅看護の概念 社会的背景と歴史 国際比較 対象 専門性	窪田静																																																								
3 ~ 4	在宅看護の制度とシステム	介護保険制度 医療保険制度 訪問看護制度 在宅医療 診療報酬 訪問看護ステーション	窪田静																																																								
5 ~ 6	在宅ヘルスアセスメント	意思伝達 呼吸 摂食 嚥下 褥瘡 感染予防等	窪田静																																																								
7 ~ 8	在宅医療支援	在宅酸素療法 中心静脈栄養法 人工呼吸器療法等	窪田静																																																								
9 ~ 10	在宅療養支援技術	自律度を高め、身体損傷を防ぐ ポジショニング 移乗 移動 シーティング 食事 自宅浴室での入浴 排泄	窪田静 長尾奈美																																																								
11 ~ 12	在宅療養支援技術 演習																																																										
13 ~ 14	在宅療養支援技術	二次障害を減らし、寝たきりを起こす ベッド上移動 (摩擦軽減シート・グローブ) ベッドの背上げ膝上げ 背面開放座位	窪田静 長尾奈美																																																								
15 ~ 16	在宅療養支援技術 演習																																																										
17 ~ 18	対象理解と支援	全人的理解 活動制限のアセスメント 意志決定・自己実現を支援する視点と技術	窪田静																																																								
19 ~ 20	在宅看護過程	医療依存度の高い在宅療養者 (神経・筋変性疾患) 在宅移行支援期の高齢者	窪田静 長尾奈美																																																								
21	対象理解と支援 在宅看護の制度とシステム	障害者への総合的な支援 障害者総合支援法 (教育協力者)	窪田静																																																								
22 ~ 23	まとめ	在宅看護論実習を前に学びを統合し、「在宅看護論を学ぶ目的と課題」を検討する	窪田静 長尾奈美																																																								
成績評価方法	提示した課題へのレポートと小テストにより評価する。																																																										
教科書	窪田静「生活環境整備のための福祉用具の使い方 (自己学習用 DVD 付)」(看護協会出版会) 地域ケアマネジメント論で教科書指定 ; 宇都宮宏子・山田雅子 (2014)「看護がつながる在宅療養移行支援病院・在宅 の患者像別看護ケアのマネジメント」(日本看護協会出版会) 配布; 在宅医療と訪問看護のあり方検討委員会「訪問看護活用ガイド」(在宅医療助成勇美記念財団、在宅医療テキスト編集委員会) (2009)「在宅医療テキスト」(在宅医療助成勇美記念財団)																																																										
備 考	地域ケアマネジメント論の進捗状況等により、授業スケジュールを変更する可能性があります。																																																										